



## 平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月31日

上場会社名 日本和装ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2499 URL <http://www.wasou.com/profile/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田重久  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 菅野泰弘 TEL 03-3216-0070  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 平成26年9月16日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	3,253	12.3	174	△27.1	124	△41.2	57	△52.9
25年12月期第2四半期	2,897	△1.0	239	218.9	212	356.5	122	625.2

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 48百万円 (△59.4%) 25年12月期第2四半期 119百万円 (613.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	6.42	—
25年12月期第2四半期	13.63	—

(注) 平成26年12月期第2四半期及び平成25年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	8,471	2,823	33.1
25年12月期	8,166	2,840	34.4

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 2,800百万円 25年12月期 2,810百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年12月期	—	2.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	0.7	500	△1.6	450	3.6	240	1.6	26.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	9,002,000株	25年12月期	9,002,000株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	0株	25年12月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	9,002,000株	25年12月期2Q	9,002,000株

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

「きもの着付け教室」の卒業生(会員様)に対する施策について

当社グループは、中長期的な成長戦略として「顧客参加型企業」を基本方針に定めており、会員様が参加し、楽しんでいただける企画を次々と提案することで、会員様からの信頼度・愛着度の向上を図っております。

当第2四半期累計期間におきましても、新しいテーマの販売機会イベント「きものだよ！全員集合」が好評を博し、恒例のイベント「遊々会(ゆうゆうかい)」では国内のみならず海外でも開催し、商品取扱高が過去最高額を記録するなど売上高の向上に寄与しました。

「きもの着付け教室」の受講生に対する施策について

将来的に当社グループの会員様となる「きもの着付け教室」の新規受講生については、1月から3月にかけての募集活動の結果、例年通りの受講生数が集まり、この受講生を対象に4月から6月に開催した販売機会での売上高は順調に推移しました。

連結子会社の状況について

日本和装クレジット株式会社(当社グループのお客様向けショッピングローン事業)では、販売機会における商品取扱高の増加に連動し、好調に推移しました。

株式会社はかた匠工芸(博多織の製造販売業)は、7月15日に東京証券取引所TOKYO PRO Marketに上場しました。織物業界では類を見ない株式上場により、海外投資家が日本の伝統産業へ投資する機会を広げると同時に、業界活性化のきっかけになることが目的です。また、同社は成長戦略の要として、男きもの市場の開拓を掲げております。4月には「男きもの専門店SAMURAI」を東京銀座、京都祇園に相次いで出店し、いままでにない「男きもの専門店」として好評をいただいております。

海外子会社においては、ベトナムでの縫製事業が本格化し、当社グループの売上原価(着物や帯の縫製に係る費用)の減少に寄与し始めました。また、新たに「和」を意識した家具をベトナムで製造し、欧米で販売することを企画しており、事業化に向けての市場調査として、9月にパリで開催されるインテリア見本市「メゾン・エ・オブジェ」へ出展します。

これらのことから、当社グループの売上高については3,253百万円(前年同四半期比12.3%増)となりました。

売上原価(着物や帯の縫製に係る費用)については、商品取扱高の増加に連動して増加したものの、海外縫製事業の本格化により、前年同四半期比では微増となりました。

販売費及び一般管理費については、「きもの着付け教室」の新規受講生募集に係る広告宣伝費の計上や、会員様向けのイベント開催に係る経費、給与手当・着付け講師の報酬など人件費が増加したことに加え、株式会社はかた匠工芸の上場や男きもの事業の展開、海外子会社における家具の企画開発などの戦略的投資により増加しました。この結果、営業利益は174百万円(前年同四半期比27.1%減)となりました。

営業外損益では、日本和装クレジット株式会社の運転資金の借入金利息を25百万円計上、資金調達手数料として支払手数料を25百万円計上したことなどにより、経常利益は124百万円(前年同四半期比41.2%減)となりました。

法人税等は、法人税、住民税及び事業税を計上するとともに、法人税等調整額を計上した結果、77百万円(前年同四半期は89百万円)を計上いたしました。

これらの結果、四半期純利益は57百万円(前年同四半期比52.9%減)となりました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心とした、きもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から305百万円増加し、8,471百万円となりました。

流動資産では、現金及び預金が516百万円減少、営業未収入金が159百万円増加、割賦売掛金が522百万円増加したこと等により、総額では161百万円増加し、7,173百万円となりました。

固定資産では、宇都宮・徳島・山口の新規拠点開設や、着付け教室のリニューアル、「男きもの専門店SAMURAI」の開店等により、有形固定資産が92百万円増加の766百万円となり、総額では1,298百万円となりました。

一方、流動負債につきましては、日本和装クレジット株式会社の運転資金としての短期借入金を長期借入金に振替えたことにより、短期借入金が751百万円減少し、総額では3,644百万円となりました。

固定負債では、償還により社債が50百万円減少したことや、日本和装クレジット株式会社の運転資金としての短期借入金を長期借入金に振替えたことにより、長期借入金が1,058百万円増加し、総額では2,003百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末から17百万円減少し、2,823百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する説明

平成26年2月13日に公表いたしました連結業績予想からの修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,910,147	1,393,489
営業未収入金	574,671	734,495
割賦売掛金	3,770,809	4,292,818
たな卸資産	140,386	130,844
その他	652,280	661,121
貸倒引当金	△36,950	△39,690
流動資産合計	7,011,345	7,173,078
固定資産		
有形固定資産	673,912	766,591
無形固定資産	23,964	32,605
投資その他の資産	456,992	499,261
固定資産合計	1,154,869	1,298,458
資産合計	8,166,214	8,471,536
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	35,682	35,393
短期借入金	3,180,876	2,429,360
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	89,721	97,851
前受金	424,530	382,153
営業預り金	10,949	32,358
その他	487,321	567,619
流動負債合計	4,329,081	3,644,737
固定負債		
社債	250,000	200,000
長期借入金	735,388	1,793,417
その他	11,202	10,101
固定負債合計	996,590	2,003,518
負債合計	5,325,672	5,648,256
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	459,634	459,634
資本剰余金	336,409	336,409
利益剰余金	2,020,827	2,012,633
株主資本合計	2,816,871	2,808,677
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,072	△8,159
その他の包括利益累計額合計	△6,072	△8,159
新株予約権	3,556	2,956
少数株主持分	26,187	19,806
純資産合計	2,840,541	2,823,280
負債純資産合計	8,166,214	8,471,536

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,897,654	3,253,990
売上原価	361,694	410,100
売上総利益	2,535,960	2,843,889
販売費及び一般管理費	2,296,064	2,669,076
営業利益	239,895	174,812
営業外収益		
受取利息	206	211
為替差益	1,977	—
その他	4,389	5,282
営業外収益合計	6,574	5,494
営業外費用		
支払利息	18,774	25,620
支払手数料	11,753	25,804
その他	3,608	4,127
営業外費用合計	34,136	55,552
経常利益	212,333	124,755
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3,171
特別利益合計	—	3,171
税金等調整前四半期純利益	212,333	127,926
法人税、住民税及び事業税	27,905	94,657
法人税等調整額	61,762	△17,182
法人税等合計	89,667	77,474
少数株主損益調整前四半期純利益	122,665	50,452
少数株主損失(△)	—	△7,318
四半期純利益	122,665	57,771

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	122,665	50,452
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,404	△2,086
その他の包括利益合計	△3,404	△2,086
四半期包括利益	119,261	48,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,261	55,684
少数株主に係る四半期包括利益	—	△7,318

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	212,333	127,926
減価償却費	42,083	44,078
新株予約権戻入益	—	△3,171
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,254	2,530
受取利息	△206	△211
支払利息	18,774	25,620
為替差損益 (△は益)	△1,977	113
営業未収入金の増減額 (△は増加)	△63,657	△159,893
割賦売掛金の増減額 (△は増加)	△1,156,109	△522,008
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△17,641	△3,685
営業未払金の増減額 (△は減少)	17,949	2,457
前受金の増減額 (△は減少)	145,882	△20,843
営業預り金の増減額 (△は減少)	37,228	21,409
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	89,476	54,115
その他	7,113	△1,140
小計	△661,496	△432,702
利息の受取額	204	199
利息の支払額	△13,333	△26,900
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	46,744	△80,715
営業活動によるキャッシュ・フロー	△627,881	△540,119
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△17,341	△130,513
無形固定資産の取得による支出	—	△10,543
敷金保証金の増加額	△1,118	△24,749
敷金保証金の減少額	25,647	7,126
その他	△29,586	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,398	△158,689
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△641,500	△1,221,000
長期借入れによる収入	1,830,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△97,436	△469,731
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
配当金の支払額	—	△72,016
少数株主からの払込みによる収入	—	1,850
その他	△1,101	△3,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,039,962	185,623
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,426	△3,486
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	388,255	△516,671
現金及び現金同等物の期首残高	1,267,773	1,781,842
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,656,029	1,265,171

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

### 3. 補足情報

季節的変動について

当社グループの主な収益源は、「きもの着付け教室」の受講生及び卒業生を対象とした販売機会において、各契約企業が商品を販売することに対する仲介手数料です。

「きもの着付け教室」は年2回(春期・秋期)開講しており、春期は第1四半期中に受講生を募集して開講し、受講中となる第2四半期を中心に販売機会を開催して終了します。同じく秋期では、第3四半期中に受講生を募集・開講し、第4四半期を中心に販売機会を開催して終了します。そのため、広告宣伝費を主とする受講生募集に係る経費が第1四半期及び第3四半期に集中して発生し、販売機会による仲介手数料の計上が第2四半期と第4四半期に集中します。

その他、教室の卒業生である会員様を対象とした販売機会を不定期に開催しておりますが、「きもの着付け教室」に係る経費及び売上高の計上時期の偏重が大きいことから、各四半期業績に季節的変動があります。